

- 自動化が困難な複雑な製品が多く
苦労もあるが良い物が出来た時の達成感は
流れ作業のラインでは味わえない。
- 新しい事が難い事へチャレンジができる
環境だと見う。
- 社員の誰もが直接社長に話を聞ける。
- エンターティナーによる指導など、113113な教育を受けれる。
- ドイツで開催されるヨーロブレイ視察に連れて行かれる。

ゆうじやう
木山雄峰

・何の仕事をしているか

生産管理の仕事をしています。

お客様から注文をいただき、受注入力をして、そこから作業指示書の発行、外注への発注などを行っています。モノづくりの一番初めの工程なのでここで受注入力漏れや、品番間違いなどをしてしまうと、誰も気づかずに品物が流れてしまう可能性もあるので緊張感を持って慎重に仕事をしています。

・岩本鉄工所の強み

一人一人がモノづくりをする職人としてのプライドを持って仕事していると思います。

時には厳しい声が飛び交うこともあります、それだけ真剣に仕事に向き合い、会社のことを見つめているからこそだと思います。

・岩本鉄工所で学んだこと

私は直接製品を触って、モノづくりをしているわけではありませんが、日ごろの現場の空気感や、お客様との電話を通して、モノづくりの厳しさや難しさを学びました。お客様あってこそそのモノづくりなのでそこで不適合が起きてしまったり、納期遅れで信頼が失われぬよう、真剣に仕事をしていかなければと感じています。

村本 尚子

以前、トスマクの製品を作り、それが納品された場所を見に行き、同時に自分も社会の一員にならひよることを実感できました。

取得した資格がすぐに役立つあります。(アーティスト等)
操作に自信が無くて、近くで見てくれる先輩方がいます。

様々な性格、価値観を持った人間がいるので
コミュニケーションの幅が広がります。

子供の頃は見ていました(読んでいた)

絵本にててはアーティストに憧れて
いた。今、実際に多くの仕事を

手本参考

(7~8)

1つの目標をクリアしていく
会社です。まったく(全然) 鉄工所
らしくない会社かも....

社員とのあいさつ、コミュニケーション、
仕事への真剣さをつぶづぶ感じます。
他分野の挑戦も短い間でモ
拳銃でいる僕がいます。

おちって笑)

つぐとよ
久留 豊

僕は今年4月で中途採用で、はや半年が
経過した。これまでの職業は飲食店、サザン系
の仕事を就いていたため、鉄工所という職に
つくるのは不安でたまつました。

年も38才という年齢で転職となるのは
勇気がいいました。。。しかし会社は人、良かた。
社説? 理念? 哲学? の中にある様に

チャレンジ精神とあります!!

いつなん時でも自分に遊び、前へ進む
事を考へて行動すれば自分にも出来事が

あふんだがーと今思ひます。知らぬ世界?
他分野に挑戦も楽しいもんです。
ぶっからみてダメならそこも結果!!

まずはおちってみましょ。(笑)

会社の方針はみんなで作り、歩く
いく。ルールを作るのは僕も
あなたと一緒にします。

りよ3 T233

湯瀬 A 南出龍太郎

- 今の会社に入る前にも湯瀬の工事を
していたんですか、自分は元々湯瀬の従事者
恰好で本屋だからそれで湯瀬工として入社した。
早く面接をせひして、自分の仕事が何なのか
一度自ら断りました。その後自分が選ばれた
先輩にその話を聞くと最初は銀行の社員をされ
しかり大して面接見ない男の子のようですが
結構熱いと言われ、一度面接をさせてもらいました
会社では主に建設機械を中心とする機械製造を
しています。建設機械でも銀行の分野がある部署は
アスファルトの舗装を行ったり、
搬送車の機械を使って機械搬送を行います。
その他にも機械を駆使して運転を行ったり、
車両が走りながら車両の荷物を運搬する運送業者
など様々な仕事があります。
- 自分は最初工場勤務から今までの職場とは違いますね
最初の工場で初めて全ての工程を経験して販売まで担当した
それが終わると新規で車両を販売する車両部へ
車両部が出来ると車両部で車両を販売する車両部の成長が
見られて感動します。
- 最初工場は設備の方にはまだ手を入れてないと感じます。
それには自分で車両に必要な資材等を車両に資材を取り付けて
もらっています。毎回の作業は車両にAのマークが車両全体の
マークを行い、それを"車両、車両"と何度も見てるので
車両をもって車両運送車両を運ぶた
車両の運転人集団です!

× 五 ①

人社でのか経験

十代で就職した。当時の私は世の中にいた仕事があるのか、また知る由もありません。
でして十七。小学校からずっと同じ続けた野球のうちは、まだ自分にハスルの長い年間でした。しかし、数年間いきがの仕事を経験する事になりました。

→ ② 人社 徒苦 流し在事 在ビ
 私の仕事は、必ず手で見て触ることで、知識が身につく。
 が、それが何時も手離せない。常に、何か問題があると、何時も手離せない。
 それは、金板から木板の接着部や、木板の接合部の
 構造が複雑で、それを理解するには、結構な時間がかかる。
 また、建設機械を使ったり、機器を修理したりする時
 は、他の人がいる場合、自分の手で修理する手順を教わる
 り、零件ごとに組み立てる順序を元で、自分で組み立てる。
 場合は、頭の中で零件加工を三つ二つ三つして、シ
 ロンする。最初は、Xマジカルに、今までは、
 総合的な工程をした。しかし、今は、手順がすくなく、
 今では、正しい手順がすぐには用いられる。
 うちに手順をし。難しい仕事を多く手がけ、
 これが出来た時に喜びが、が得られます。
 これが、板金加工にして、これが、板金加工や、

穴あけ加工で、またたびねのイヌがさ

ます。ね水を全く持てない感じ。私の前回

はうに八月と九月が来たときにまたまた

。またまたまたまたまたまたまたまたまた

3/3